

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認 令和3年 3月29日

新型コロナ作業部会確認 令和3年 3月30日

事業名 競技会場等における混雑検知業務委託(新型コロナウイルス感染症対策事業)

案件名 競技会場等における混雑検知業務委託

確認の視点		東京都の見解	備考
経費の負担が令和2年12月4日の合意の考え方に基づくものであること		<p>本件業務委託について、組織委員会は、「中間整理」において主催者が行うことと位置づけられた観客向け感染防止策として、目視等に加え、混雑状況を検知するシステムを導入するものとしている。</p> <p>このため、競技会場等における観客等を対象としたシステムの導入は、令和2年12月4日の合意に基づくものと認められる。</p>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<p>本件は、競技会場及び選手村の、専ら組織委員会が閉鎖管理を行う施設内にシステムを導入するものであり、組織委員会が一括して執行することが、合理的である。なお、アプリを活用した混雑時の観客等へ周知や警備員等のスタッフによる混雑回避のオペレーション等が効果的なものとなるよう、具体化を図られたい。</p>	
経費の内容等が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること	必要性	<p>競技会場において、観客の集中が予測される箇所にシステムを導入し、有効な感染予防対策とするため、観客等がアプリに有効にアクセスする方法や、警備員等のスタッフによる注意喚起等のオペレーションをより明確化するなど、さらなる検討に取り組まれたい。</p> <p>現状では、周知方法やオペレーション等、検討中の部分が多いため、設置の箇所や規模について、継続した見直しを行う必要があると考える。</p>	
	効率性	<p>資機材やシステム開発の規模や工数、設定単価については、他の専門知見を有するFA等による検証を行っているとしており、効率性の確保は一定程度認められる。</p> <p>なお、組織委員会によると、検知装置の設置対象となる対象会場や会場ごとの観客等の混雑の発生場所を特定しているが、4月中に観客の上限等を決定するとしており、状況により、見直しを図ることが必要である。</p>	

	納 得 性	<p>組織委員会によると、本件については、昨年国が行ったスタジアムにおける混雑緩和に係る実証テストに参加した、スポンサー企業から調達することは、保有する技術・ノウハウ及び、今夏開催までに機材調達や設営、システム開発を行う必要があるためとしている。</p> <p>契約及び業務委託の実施にあたっては、組織委員会としてオペレーション等を含めた規模、単価の検証や、観客数上限設定の状況に応じ検討を進めるだけでなく、契約自体の見直しも考慮することが必要である。</p>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<p>本件については、V5 予算に収まっていることを確認したが、「中間整理」で対象とされた競技会場内等の観客等に係る混雑情報の周知やオペレーションの具体化の詳細について適宜報告を行うこと。</p> <p>なお、観客数の上限設定などの状況等に応じて探知装置の設置個所やサービスの提供規模の見直しによるコスト縮減を適切に進められたい。</p>	